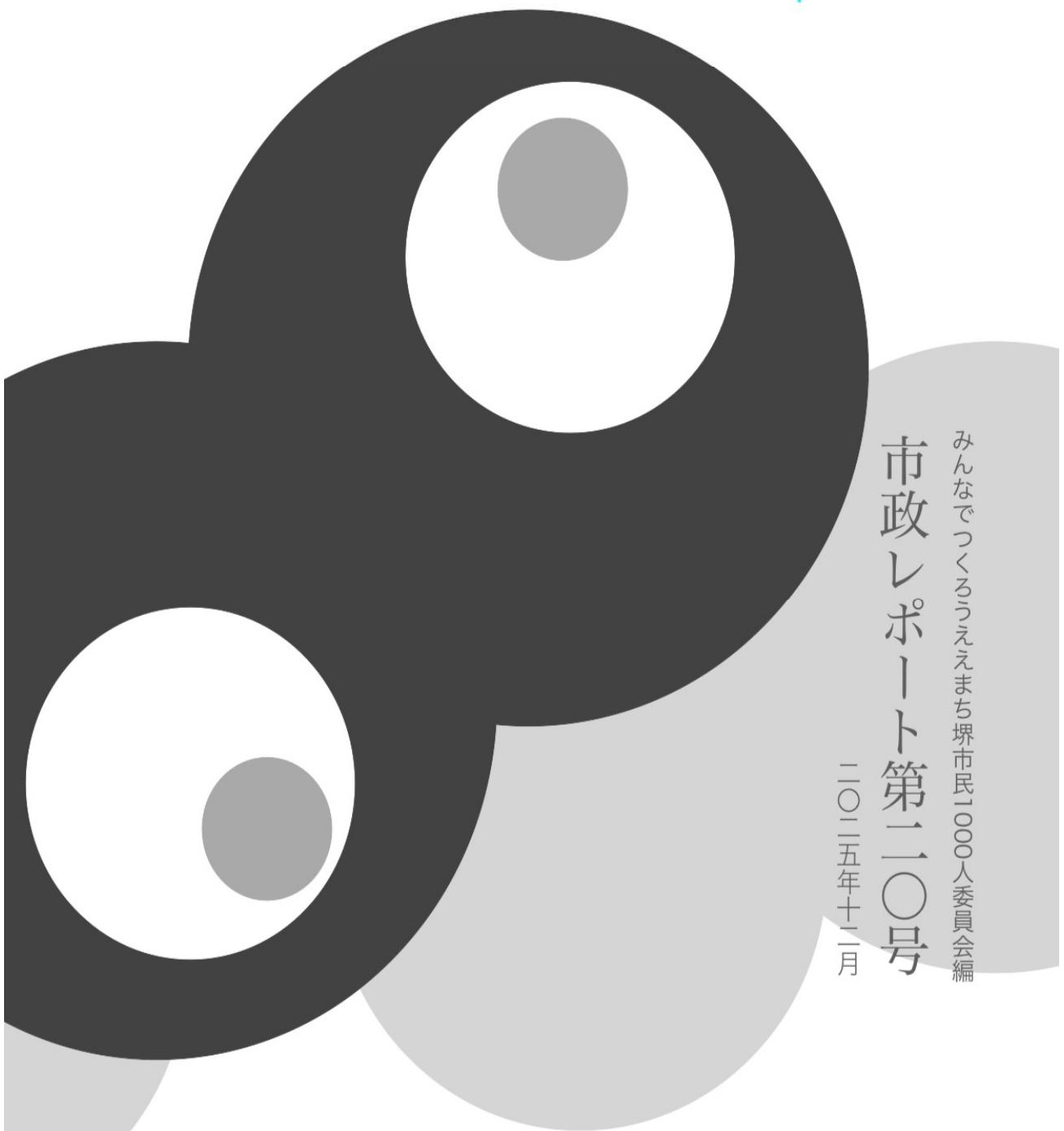


# 万博を 検証する



みんなでつくるうええまち堺市民1000人委員会編  
**市政レポート第二〇〇号**

二〇一五年十一月

## 【開会あいさつ】

吉村 薫さん（市民 1000 人委員会事務局）

本日司会を務めます市民 1000 人委員会事務局の吉村です。どうぞよろしくお願いします。本日の第 18 回市政チェック学習会のテーマは「万博を検証する」です。皆さんお集まりいただきありがとうございます。

私は結局万博には行っていません。でも、会社の人たちは 8 割か 9 割ぐらいの方々が行ったようです。なんか自分でモヤモヤしたものがあります。みなさんすごく楽しそうに喋っているし SNS でもいろいろ流れているし聞いたこともないようなパビリオンとか行きたかったという気持ちもモヤモヤを抱えていています。



でも今なお残っている未払い問題やメタンガスの問題もこのままでいいんかなという気持ちもあります。カジノが作られるという意気込みが高い中で皆さんと一緒に「この万博、本当はどうや」というのを一緒に学べることができたらと思います。

元大阪日日新聞社記者で現在フリーランスで活動しておられます木下功さんにお話いただきます。どうぞよろしくお願いします。

もくじ

ページ

### 【開会あいさつ】

吉村 薫さん（市民 1000 人委員会事務局） 1

### 【講演】万博の成功とは何か～コスト、安全、レガシー

木下 功さん（元大阪日日新聞記者） 2

### 【報告】万博遠足は安全だったのか 森田晃一さん（市議会議員） 9

### 【報告】未来への投資か、財政リスクか？堺市と万博関連支出を読み解く

小堀清次さん（市議会議員） 13

### 【市議へのクエスチョンタイム】

### 【市民運動報告】

さかいユニオンビーナス分会 植田謙太さん・美佐田和之さん 18

ミュージカル『糸をつむぐ人魚姫』 小川たか子さん（実行委員長） 19

学童保育事業者選定 松谷有紀さん（堺学童保育連絡協議会事務局長） 20

### 【閉会あいさつ】

杉山美紀さん（市民 1000 人委員会事務局） 21

\* 市民 1000 人委員会第 6 期会計（中間）報告と賛同金のお願い 22

# 【講演】万博の成功とは何か～コスト、安全、レガシー

木下 功さん（元大阪日日新聞記者）



万博が始まる半年前に『大阪・関西万博「失敗」の本質』という本を4人の仲間と出しました。万博が終わればどんな結果でも成功だという話になってしまふということを懸念して、その前に批判的な立場から指摘しておこうということでこの本を作りました。実際に多くの問題が残る中、万博が成功したという声が強くなっています。書いておいて良かったと思っています。

23年7月末まで大阪日日新聞にいました。そこが休刊となつてフリーランスになり、講演をしたり、雑誌の記事を書いたりしていますが、その段階では私は万博絶対反対という立場ではなかつたのです。1年間延期すべきと言つていました。これは間に合わないという思いで、実際に間に合わなかつたパビリオンの建設とかがありました。防災や安全の問題点を指摘してきて、懸念していたことが出てきました。それをお話しようと思います。

## 万博の成功とは何か

そもそも万博の成功とは何か。経済界や大阪府、大阪市が言う成功は、会場の運営費の赤字を出さない、大きな事故を起こさない、多くの人に来てもらうというもので、これはもともと万博協会の石毛博行事務総長が言っていた必要条件でした。3つの必要条件をクリアしたことと、厳しい世界情勢、ウクライナがあり中東がありという中、経済環境も厳しくなっていく中で大きなイベントをやり遂げたこと、これらを成果として挙げられました。吉村知事は「成功裏に終わった」とし、10月20日には大阪府議会も万博が成功してありがとうという決議を出しています。これらが本当にできていたのかというところを見ていきたいと思っています

## 赤字を出さない

会場運営費は230億円から280億円の黒字の見通しが発表されています。これは入場販売枚数の採算ラインが1,800万枚のところ2,206万枚売った（10月13日閉幕時）、公式ライセンス商品も大変売れているということで、会場運営費は黒字という話になっています。しかし、本当は会場運営費に含む予定だった要人警護などに使う会場警備費250億円を、国が負担しました。これが絶妙な額です。

230億円から280億円黒字の見通しということは250億円があったとしても黒字なのか赤字なのか、記者側としては書きづらい。もう一つ大きいのが会場建設費。報道されたので皆さんもご存じかと思いますけどもともとは1250億円でした。これが2回上振れして2350億円になった。この上振れ分の3分の2は国と大阪府市が税金として出す。残りの3分の1を経済界が出す。もともと会場建設費は経済界と国、大阪府市で3分の1ずつ負担することになっていました。ここで当初の計画から追加の税金が投入されたってことです。もともと会場運営費の黒字をなぜ目指したか。会場運営費が赤字になった場合、誰が払うかが決まっていませんでした。結果として黒字になったから会場運営費については追加の税金投入が回避できてよかったです。結局、会場建設費は当初の計画から1.9倍になっています、そのうち3分の2は税金で払いますということだから、会場運

営費が黒字やったからよかったという話ではないということです。

インフラ整備費。国が発表した9兆円台というのはめちゃめちゃ広く取っています。鳥取の自動車道とか全然関係ないところまで入れています。一方で会場建設費には淀川左岸線とか夢洲の整備費とかは含まれていません。万博全体の経費が非常に分かりづらい。半年間のイベントのためにメトロの延伸はしないでしょう。万博後にIR・カジノがあるからこの島に行く人がおるということで、それがなかつたら鉄道を通すわけがない。万博の経費はいくらかかって、IR カジノの経費はいくらで、湾岸開発の経費はいくらときちんと分けてそれぞれ評価しないと本当の赤字、黒字というのはわからないということです。

## 大きな事故を起こさない

「大きな事故を起こさない」という点ですが、記憶に残っている人も多いと思いますが、8月13日のお盆の時に大阪メトロ中央線の停電トラブルというのがありました。足止めをくらった人が38000人、日付を跨いだ人が32000人、翌朝5時まで会場にいた人が1万1000人いらっしゃった。トラブル以降の救急搬送で36人が運ばれている。

この時大阪府警が機動隊を出した。大阪メトロ夢洲駅から地上に上がっていく長い階段があります。非常に危ないと言われていて、人が多い時は警官がうまく誘導するようになっていた場所です。東ゲートにも機動隊を投入したのでみんな大人しく待った。怒号が飛んだりしたらしいですが大きな事故にならなかったのは、府警やメトロの人たち、現場がすごく頑張った。だから何とか雑踏事故、大きな事故にはつながらなかったということです。一つ間違えたら大きな事故になっていた。体制はちゃんとできていたのかということです。

医療救護施設が8箇所あり、お医者さんがいるところが3カ所、看護師さんだけのところが5カ所でしたが、途中までめちゃくちゃしんどかった。適切な救急対応が一番できるのが西側の診療所だった。そこの看護師さんに話を聞きました。当時6月、これから熱中症が始まろうという時。学校から団体で来た子どもたちがバス酔いして吐いてしまう。小さい子どもたちはTシャツとか汚れます。万博のグッズで4000円するTシャツを買いに行ってそれで帰宅させるということが起こっていた。親の電話番号がわからないことがある。親の了解を得ないといけない処置がいろいろあって、それができないと看護師さんは必死です。当時の医療救護施設の場所は分かりづらかった。白い十字のマークがありましたがあまり分からなかった。前に土嚢が置いてあってこれが医療救護施設ってそばまで行ってもわからない施設、立ち入り禁止の向こう側にあった施設も。こんなもん誰がわかるかって話でしょ。これは推測ですけど医療救護側からしたら簡単な治療で済むような人がバンバン来られたら対応できないっていうことの裏返しだったと思います。現場の看護師さんたちは頑張っていましたけど人数が足りないからそうになった。そこは危ないと思ったのでしょうかね。看護師を7月に5人、8月に5人増やされて、直せるところは万博協会も直していました。

(停電事故の日)野宿の人たちがたくさん出た。吉村さん途中からXで「今からこれはもう災害とする」とおっしゃった。防災に切り替わったらバビリオンで泊まれるようにするっていうのが決まりだった。防災実施計画にそう書いてあったけれど、それは機能しなかった。地震も含めた防災です

### ◎8月13日の大阪メトロ中央線停電トラブル

#### ・万博協会推計

足止め 約3万8000人

日付をまたいだ人数 約3万2千人

翌朝5時まで会場にいた人 約1万1千人

トラブル以降の救急搬送車数 36人

複数個所骨折 1人（朝日新聞）

#### ・大阪府警が機動隊投入し、安全確保

### ◎「運が良かった」（万博協会幹部）

#### ・医療救護体制

#### ・防災

から 10 万人単位です。ピーク時の来場者数は 22 万 7000 人を想定、避難は 15 万人を想定してあつた。10 万人どころか 1 万 1 千人のためのパビリオンが用意できなかつた。地震だったらどうなつていたのかということです。

## 大屋根リング 残置費用は誰が

費用の問題でもう一つ。大屋根リングの残置が決まつたように言われていますが決定じやない。税金を使う大阪市議会も大阪府議会も決定していない。万博協会の幹部たちと経済産業大臣の代理の人たちで一応この方向性で行きますということです。改修費用で 40 億円です。維持管理費用は 10 年間で 15 億円。合わせて 55 億円ですけど、10 年間で 15 億円ということは、要するに 10 年間は維持管理するけどもその先は決まっていない。だから 10 年間、大屋根リングの北東部を残すために 55 億円使うのかということを市民に問わんといかんと思います。

もう一つ問題があつて、万博協会の資料の中では「健全性」って書いてありますが、あえて「安全性」と言います。リングの部材が腐つてないか使えるかというところを見ずに残すのはいけない。建築基準法の工作物として残す方向ですが、工作物は登れるが、その下に店舗とか作ろうと思ったら消防法上の対応が必要な建築物ということになつて、もっとお金がかかる。しかし、登れるってことは安全性がちゃんとしていかなければいけないということです。腐っているかどうかというデータを万博協会が提供して、大阪市が必要に応じて確認するというのが今の考え方です。費用負担は大阪市が「拠出する」としていますが、国側の補助金、大阪府の負担、運営費の黒字を使うことは、これから「検討する」なんです。

安全性でもう一つ問題があるのは地盤です。夢洲は恒常に地盤沈下しています。地震が起つたら液状化します。これは大阪市や万博協会が検査するとも調査するとも言つてない。でも登れるようにするには絶対調査せんといけません。大屋根リングの陸側の杭を打つてない部分の 200 メートルだけ残すのが安全なのかということは、調査せんとだめだと思います。大屋根リングを残すとなると、土地所有者の責任として、大阪市が地盤の面倒をみなあかんという可能性が出てきます。これらのことを大阪市民は全く知らないです。これらも含めて分かった上で「じゃあ残しましょう」ならいいです。でも分からぬままになんとなく気分で残しましょうということが非常に問題だと思います。

藤本壯介さんという方が大屋根リングの発案者ですが、「カーサ」という雑誌のインタビューに答えていらっしゃる。はつきりはおっしゃつてないですけど万博の大屋根リングを一部残すことについての質問に対して、「一部だけならどうかな」みたいなことをおっしゃっています。発案者もたぶん望んでないと思いますし、大阪府民市民も残すのかということです。費用負担がないならばいいですけど、そうじゃなくて自分らのお金が出ていくんだよっていうことです。実施すれば何かのサービスができなくなるってことです。

これから問題になるのが跡地です。今、議論の最中ですけど、夢洲第 2 期区域マスタープランというのがあります。バージョン 3 が来春に出てくる。それをもとに事業者を募集していく。いくつか問題が出ておりまして、大林組のグループと関電不動産のグループから出された 2 案が優秀提案として残りました。この 2 案の目玉としてサーキットやウォーターパークが出てくる。それに対して関西経済連合会が反対を表明されています。マスタープランについての府民意見を聞くパブリックコメントというのがありますが、10 月に公表されており、関経連は「もう一回官民共同で議論るべきだ」として、協議の場の設置を要望しています。

今週に知事定例会見と市長定例会見があり、私も出てそれぞれにお聞きしました。吉村知事がおっしゃるには「経済会の意見は非常に重要なので大切にしたい」と、横山市長もここは全く一緒です。ただし協議体を作るというところに関してはどちらも「うん」とは言わなかったです。結局、パブリックコメントの中の経済界からの要望を取り入れていくことが、今のスタンスです。ただ経済界がこのまま黙っているかどうかというのはまだ分からないです。

もう一つ問題があるのは、大林組グループに関西電力が入っていることを共同通信がスッパ抜き、「同じ会社がそれぞれのところに入っていたらアカン」ということがありました。関電不動産というのは関西電力の100%子会社です。「優秀提案2案の両方ともに同じグループが入っているということはどうやねん」ということが市議会で議論になりました。ただ市側は、これはルールに反してないということでこのまま進んでいます。

マスタープラン策定後に、大屋根リングや静けさの森を残す話が出てくるなど、状況が変わってきています。バージョン3を僕たちは注視しないといけません。サーキットに関して経済界は違和感があるようで万博のレガシーとして残したくないということです。

## 万博工賃未払い問題

未払い工賃問題もあります。11の海外パビリオンの工事で相談が出ています。裁判で訴えている人に対して、未払いを指摘されている側が反訴しています。行政側も「今裁判になっていてそれぞれがやり合っている、だからそこに行政はなかなか手を出せない」という言い方をされる。

「民民」の問題という話でほぼほぼ切り捨てられている感じですが、本当にそうかという話です。NHKの「関西熱視線」という番組で取り上げていました。詳細なデータを調べられ、工事に入るのが遅れたところに未払いの問題が起りやすかったということ、行政側が吉村知事と横山市長が建設業の中小の団体を集めて、「遅れて大変やからやってください」と言ったことなどを報じていました。これ本当に「民民」の問題かと、大変やからやってくれと頼んだのは誰やと。もう一つはルーマニア・セルビア・ドイツ・マルタはフランスのGLイベントという会社が全部受け付けていました、この会社が裁判にもなっています。それぞれの国が悪いわけじゃない、

何か救済する方法はないのか。万博開幕中に会場建設費も含めて財務の責任者が会見された時、記者が質問の中で「会場運営費が黒字になったんだからその黒字部分は（未払い工賃に）回せないのか」という話をされたんです。財務の責任者の方は「会場運営費を会場建設費に回すわけにはいかん」とおっしゃった。でも会場建設費には、2回目に上がった時にまた何か起こったらあかんからといって130億くらい予備を積んだ。うち60億くらいはメタンガスの爆発の対応で使っていますが、60億くらいは残っているはず。「会場建設費の予備費を使えないか」とお聞きしたところ、「できると思いますが万博協会に責任があれば」と言われた。では、本当に万博協会に責任はなかったのか。23年6月でしたかね、建設業界のトップが海外パビリオンの建設について「もう間に合わん」と言った時がありました。海外パビリオンから発注がなく、「早くしてくれ」と。大手・準大手ゼネコンは夏ぐらいの段階で海外パビリオンに手を出さんって決めました。なぜかと言ったら、仕様も難しかったし、地盤の問題もある、何よりも彼らは万博が始まった後に、建設中のパビリオンに自分の名前が出ているのが嫌だったんです。世界中に発信されるわけじゃないですか。大手が手を引いた後に出でてきた中小建設の中には、万博閉幕後の公式の万博本に万博で建設した会社として名前を載せたいという会社もあるそうです。一方で、さらに遅い段階から工事を請けた人々は、大阪でやる万博やから助けようという義侠心みたいな感じで参入した人もいるわけです。ぎりぎりなことが分かって

いても、大阪府、大阪市が言ってきたんやから大丈夫だろうと思っていたら、はしごをはずされた。倒産の可能性があるところが出てきています。起こってしまったら万博倒産です。だからこの未払い工賃問題、跡地問題も含めてまだ万博は終わっていません。現在も全ての収支は出でていない。跡地は誘致段階で議論すべき話であって、今、議論していること自体が大きな問題だと思っています。

## IR・カジノの問題点

### 経済効果の実現性

IR・カジノの話に触れようと思います。2030年にできることは既定路線のように進んでいますが、深刻な問題点があります。経済効果の実現性として、一番はオンラインギャンブルが主流になっていることです。オンラインギャンブルの収益が増え、リアルの収益は減っている。もう一つはこの計画自体がコロナ前に作られました。中国では富裕層のマネロンとかを防ぐために法改正しました。一番大きなマーケットとして見ていた中国マーケットが消えました。主流はオンラインギャンブルです。

### ギャンブル依存症

今ものすごい勢いでオンラインギャンブルの犠牲者が増えています。これらは若い子です。私たちはヤンブルしないから関係ないじゃないんです。自分の子ども世代の20代、30代に増えています。ネットから入っちゃうんでオンラインギャンブルは止めるのが非常に難しいです。日本では違法ですけど、子どもたちは課金のゲームになれているんでハードルがすごい低いんですね。そこから行っちゃって、闇金が出てくるわけです。3万円、5万円すぐ貸しますみたいなのが出てくる。お金がなくなってしまってそこに手を出しちゃうと今度は闇バイトが出てくる。今は闇金をすっぱしていきなり闇バイトに行っちゃうこともあるんです。

何人かとお話ししましたけど、ギャンブル依存症に入り込むスピードがオンラインは圧倒的に早いです。もともとはパチンコから入った人がいましたけど、パチンコは1日とか半日とかかかってコスパが悪い言いはり、オンラインの競馬に。あれ一周回ったら終わりで、競馬って日本全国でやっているから実は毎日やれるんです。その次にいったのがオンラインのバカラです。これはトランプの勝ち負けを当てるだけなので一瞬で決着し、のめり込み方が半端じゃないんです。ギャンブル依存症は脳の形が変わるくらい刺激が与えられてしまう、だからギャンブルが好きな人がハマるという話ではないです。そこに行ったらハマっちゃう。

### 夢洲の軟弱地盤

もう一つは夢洲の地盤の問題。夢洲は地震が来たら液状化します。地盤沈下は恒常的にしています。万博の建物は仮設だからいいです。大屋根リングに関しては10年残すからちょっと問題になっている。そこに高層ホテル建てるっていう。専門家にお聞きしたのですけど、「夢洲に高層ホテル建ててどうするねん」って話です。これは松井市長の時代に何回か聞いています。松井市長に最初「もし何かあったら誰の責任か」とお聞きした時に松井さんは「建設会社」っておっしゃったんですよ。あらためて同じ質問をしたら「建築基準法で決まっているから誰かが責任ということじゃない」と

## 万博とIRの関連年表②

17年 4月	大阪府と大阪市が共同でIR推進局を設置。 大阪への万博誘致を閣議了解
18年 7月	IR整備法成立
8月	大阪市が「夢洲まちづくり構想」策定。国際物流拠点に加え、国際観光拠点の役割を明記
11月	万博の大坂誘致決定
19年 1月	万博の運営主体である万博協会設置
21年 9月	MGMとオリックスをIR事業予定者に選定
22年 3月	大阪府議会でIRの区域整備計画承認。大阪市議会で、大阪府がIRの区域整備計画を申請するのを承認。大阪市議会で788億円の債務負担行為を可決。
7月	大阪府議会がIRの住民投票実施を否決
23年 4月	国がIRの区域整備計画を認定 9月 国がIRの実施協定を認可(22日)。IRを運営する事業者と大阪府が実施協定を締結(28日)。
25年 4月	大阪・関西万博開幕予定
30年 秋頃	大阪IR開業予定

「作ったということは大丈夫やった」ということに変えられた。地盤が変わったわけじゃないので、土地の問題も含めて夢洲に高層ホテル建ててカジノ作っていくということ自体があかんと。

#### 私たちは当事者

アメリカではオンラインギャンブルをやるにはリアルのカジノをやっているところやないとダメやというような運動が起こっていました。カジノ業界の協会がありまして、その中でそういう運動が起こっていて日本もそれが起こる可能性があります。「オンラインギャンブルはダメやから規制するのではなくてちゃんとしたところにやらせましょう」みたいな話が出てくる可能性がある。それを裏付けてくれる方とお会いしまして、イギリスで自分のご家族がギャンブル依存症になって自殺された方に講演に来ていただきて、その方々と話をする機会がありました。その時にオンラインギャンブルが目当てだらうとおっしゃったので、そういうことが狙われている可能性があるということを念頭においておかないとだめだと思います。

### 【木下功さんへの質疑応答】

**Q：万博にいいイメージを持っている市民の方と話すとき、経費の問題から入ると語りにくい面があるかと思います。そうした人と万博の問題点と一緒に考えていく際、どういったところから話をしていけばいいでしょうか？**

私は今も建設費に関して「赤字や、黒字や」とか言ってないので。何故かと言ったら、本質的な問題は当初計画よりも税金が最初の計画よりもどれだけ使われたというが問題の本質です。

今回、230 億から 280 億の黒字を見通し、会場運営費のところは確かに頑張っている。SNS の効果が大きかったので、集客イベントとして成功した。ただし会場建設費を見ると、あそこまで上がってしまった。もちろん、費用対効果のところはそのとおりですけども、1.9 倍まで上がった。それについて、きちんとした議論がされていない。例えば、大屋根リング、あれも最初は 350 億円。「こんな金額を持ってきて、半年で壊すというけしからん」という話がありました。素材が決まっていない段階から金額出していたのです。

本質の問題は追加の税金がいくら投入されたか、それは本当に必要で、適正な額だったかということです。

**Q：副首都、大阪都構想の3度目の住民投票についてどう考えておられますか？**

副首都は国の機能のバックアップの問題で、都構想は地方自治体の形の問題で全くの別物であり、論外としか言いようがございません。ノーです。（拍手）

**Q：万博工事未払問題、解体工事はどうなっていくのでしょうか？**

非常に厳しいです。裁判が始まっていますが、裁判に勝てばようやくお金が戻ってくるという話になると当面の資金繰りには間に合わない。融資とか立て替えとかあるいは違う形か、今お金がいる、そこを何とかしないと間に合わなくなる可能性が非常に高いです。



解体工事では、特に海外パビリオンという形も残らないので、そのまま支払われないのでいう懸念を事業者さんが持っています。野党の国会議員さんが動いて変わる可能性がありますが厳しい状況です。

**Q：夢洲からの避難計画はどうだったのでしょうか？**

夢洲からの避難は、夢舞大橋を渡るか夢咲トンネル（自動車道とメトロ）の2つのルートですが、停電事故で分かったように、万博の会期後半はメトロが来場者の6～7割、夜になると7割強か8割近くを運んでいます。とりあえず万博は運が良くて無事に終わりましたが、これからIRが開業したときに避難の方法自体は変わりませんので、どのくらいの人数が来場し、どれくらいの避難が見込めるのかが一つ。そして夢洲の地盤に高層ビル、高層ホテルを建てることが問題になってきます。非常に危ういと思います。

**Q：夢洲が廃棄物処分場でなくなりますが、どうなるのでしょうか？**

夢洲が廃棄物処分場でなくなることで、大阪市の負担増があります。建設残土、浚渫土砂とかを夢洲に運べばよかったです、今後はまたもう一つ人工島を作るなど、新たな処分場が必要になると思われます。金額はまだ私も分かっていないです。

**Q：オンラインカジノと夢洲カジノの関係は？**

オンラインカジノは日本では全部違法です。警察も周知が遅かった。だからオンラインカジノが違法と知らずにやっていた芸能界やスポーツ界の人たち捕まった人たちがいます。これは行政側の怠慢だと思います。

カジノ推進側から、パチンコ、競艇、競馬とかあるのに、なんでカジノがいけないのかとよく言われます。一つはギャンブル依存症が既に相当増えてきて、これは病気として認識されている中で、行政が誘致することに問題があります。オンラインギャンブルでは若い人たちが今狙われてきています。ある研究によれば、リアルカジノがあるところはオンラインギャンブルも増えてしまう。これがはっきりしたらもっとちゃんと言えると思います。人間操作的なことでネット上の情報から集めていって、この人に対してはどういうふうに進めばいたらギャンブルしてくれてたくさんお金を払ってくれるかと。簡単に言うと、ギャンブル依存症として自覚したり、まわりに発覚したりするまでにはグラデーションがあり、その手前ぐらいの状態を作っていくのが彼らの手法です。こんなもんをやらしたらいかんというのが私の考え方です。



# 【報告】万博遠足は安全だったのか

森田晃一さん（堺市議会議員）



堺市議会文教委員会や本会議でこの問題の質疑が盛んに行われました。当初、私たちが違和感を感じたのは、万博協会や大阪府教育庁が堺市の各学校に対して、堺市教育委員会を介さずに直接に「行くのか、行かないのか」の調査を始めたことです。異常な事態だと感じたところから、この問題が始まりました。

## 圧倒的多数の学校が不参加

そのアンケートでは、当然先々のことですから、参加すると言い切れる学校が少なく、「参加を検討」という回答が一定数ありました。学校現場としては色々検討する中で厳しい問題が見えてくるだろうと議論をしてきました。

最終的には、小学校では参加が 14 校、不参加が 78 校、中学校が参加 10 校、不参加が 32 校ということで、圧倒的多数の学校が「参加しない」という結果になりました。

教育委員会には行った学校から「意義ある活動だった」というようなことが届いているようですが、私たちが学校現場に直接お話を聞いたら、学校の先生の相当なご苦労があったとのことです。

## 大阪府「児童生徒夏休み特別招待事業」

大阪関西万博への児童生徒の夏休み特別招待事業がありました。大阪府が新たに予算をつけて「学校で遠足で行かなかっただ子どもたちを夏休み中に招待してやろう」と考えたわけです。大阪府全体で 419 人の子どもたちが参加しました。うち 102 名が堺市の子どもたちです。対象は小学校 3 年から中学生の 45,552 名。うち 102 名だけの参加でした。1 億 5000 万円も予算付けて、ほとんど活用されなかったということを見れば、これだけのお金があるんだったら、他に色々な事業ができたのではないかということも見えてきます。

## 堺市の無料招待事業

堺市も独自で子どもたちの無料招待事業を行いました。堺市内の小学校 1 年から中学生までが対象で 6700 万円の予算をつけました。実際に入場した時点で支出されますので全額が使われてはいません。入場数は 1 万 1191 名、ただ申請した数は 16,829 件。申請したから必ず行ったということで

2

### 「2025年大阪・関西万博児童・生徒招待事業」（約20億円）に係る各校の結果

	小学校	中学校 *	高等学校 *	支援学校	計
参加	14	12	2	1	29
不参加	78	32	0	2	112
計	92	44	2	3	141

\* 殿馬場中学校の夜間、堺高校の定時制は全日制とは別に計上

### 「大阪・関西万博への児童・生徒の夏休み特別招待事業」（約1億5000万円）の結果

- ・対象 小学3年生から中学生
- ・参加人数 大阪府内 419名  
内堺市内 **102名** / 4552名 (内 小学生 96名 中学生 6名)

### 堺市独自「大阪・関西万博無料招待事業」（約6700万円・1名あたり1000円）の結果

- ・対象 堀市内の小学1年生～中学生
- ・入場人数 **11,191名** (申請数16,829件) / 61,123名 (R 6.5月時点)

もなかったということです。母数は6万1123名ですから、やはり行った数の方が少なかった。

## 下見が充分できず遠足不参加、という当然の判断

学校が遠足で行くには、特に小学校はそうですが、事前に会場等に行き、どこにトイレがあるのか、どこに医療体制が整っているのか、どこに出入り口があるのか、下見をします。学習指導要領にも定められています。先生方からすると、行かないと判断したのは当然だと思います。

## 地下鉄ストップ事故

3万人足止め、36人救急搬送。よくこの時に遠足がなかつたものだなと思うわけです。ホームページから会場内の写真を見ると、会場敷地で横になって休む人たちがいる、会場内の自動販売機も全部ランプがついて使えない、翌早朝

**地下鉄ストップで万博会場は“孤島”に 約3万人足止めされ36人搬送 一部のパビリオンは臨時営業や開放で対応も 大阪メトロは早晨によく運転再開**

8/14(木) 18:49 配信 口19 ☺️ X Facebook

**ABCニュース**

13日、大阪・関西万博の唯一の鉄道路線・大阪メトロ中央線が運転を見合わせ、帰宅できない人が万博内で一夜過ごすなど、影響は朝まで続きました。

会場内の自販機も買えない状態に

運転再開後に帰宅する人々には疲労の色が

大阪メトロの会見

出典・ABCニュース

の運転再開後は疲れ果てていたと。

大阪メトロの記者会見によれば、電気供給のレールの停電が原因だったということです。来場輸送の7割を担う唯一の中央線、これが止まつたら帰宅困難者が即座に生まれるということがこの停電でよくわかったと思います。そしてゲートにすごく人が溜まるので、熱中症のリスクが一気に高まった。当日午後10時頃は大阪市内の気温は30度でした。36人が熱中症の疑いで救急搬送され、1.1万人が会場内で一夜を明かすという事態になりました。

飲料の自販機が使えず、ポルトガル・パビリオンが自主的にドリンク、ワインを販売、ドイツ・パビリオンのスタッフは、リングで休む人たちに無料でグミを配布という状況でした。

## 大量輸送による本数増が原因の地下鉄停電

午前5時半ごろ、ようやく大阪メトロ中央線が全線で運転再開しましたが、結局停電の原因が何かを記者の方がリポートしています。およそ300mに1箇所設置されている、缶のようなジャンパー線がショートしたことが原因だということです。大阪メトロは記者会見を開いて謝罪し、停電の原因特定に時間がかかり、運行再開まで8時間が要したと説明しました。取締役は「過去にこのような事態はなかったと認識している」と。記者から「万博での列車の本数増が原因じゃないですか」問われて、常務取締役が「列車が動くことで、ほこりなどがたまりやすくなることは認識している。本数が増えた、その部分での可能性は否定できない」と答えています。唯一の鉄道路線で大量の人たちをピストンで送りまくるというのは、やはり無茶があったということが分かるやりとりです。

## 臨機応変に災害対策への切り替えができなかつた

各パビリオンが自主的にグミだとかドリンクを配ったりしましたが、なぜすぐに災害対策に切り

替えて対応ができなかったのか。万博協会は当時を振り返ってこう言っています。「来場者目線で、欲しい情報をタイムリーに発信できなかった。改善策として『災害が発生し、また発生する恐れの場合と規定していた災害対策本部の設置要件も見直して、今後は交通障害時にも適用する』と、事が起つてからようやく考え方を変えていきますというやり方だったんです。

堺市教育委員会に「なんでこんな対応になったのか」を問いました。それで教育委員会が万博協会の問い合わせた回答は「災害ではなかったから」と。臨機応変な対応が全くできていなかった。できていたら、大量に用意している災害用の避難食を即座に配布することもでき、もっと色々な対応ができていた筈です。機械的な対応になっていたということです。

この間、私たち議会の側から教育委員会に対しては、ああいう立地だから危険はないのかとさんざん聞いてきましたが、教育委員会は、来場者に対する情報提供、避難誘導、備蓄など防災実施計画などと万博の安全性を議会等で答弁してきたのです。ところが8月13日に電車ストップとということで「あなた方、安全性を言ってきたんじゃないのか」と聞きますと、「今回の事案では災害対応の切り替えが遅れ、協会内の危機管理体制や関係機関との連携が不十分であったことなど遺憾であると言わざるを得ません」と答弁しました。

## 危険と隣り合わせだった万博遠足

教育委員会からは遺憾という言葉は繰り返し出てきましたが「それなら万博協会・大阪府に対して抗議文を送りつけたらどうだ」と問うと、「それはできない。もし災害時であって災害対応ができるとなったら抗議文は送れるけども、実際災害ではなかったので抗議文まではちょっとやれません」と。私は教育委員会も反省するべきだと思います。冒頭述べたように、大阪府教育庁が、堺市の教育委員会の頭越しに各学校現場にあれこれ指示すること自体が異常なわけで、こんなことを二度とやらせるなということも加えて指摘しておきました。

結果的に万博遠足でのような停電がなかっただけで、常に危険と隣り合わせだったというのが私の中での結論です。おそらく皆さんもこの考え方を共有して頂けるのではないかと思います。

## 大屋根リングの堺市での「活用」に堺市負担？

堺市議会で「大屋根リングの廃材を堺市で活用すべき」という議論があるのです。先日、担当課にヒアリングしたところ「大まかな活用方法を考えてはいるけども、どれぐらい割り当てがあるか分からないので、断定的なことは言えない。確実なことは、もし割当てがあった場合、運搬費、加工費は全て堺市負担になります」と。万博は閉幕しましたが、まだまだ後片付けやら何やらで問題は引きずっといるという状況です。この間万博担当の職員は、色々と考えてこられ、振り回されてきました。今度はこの大屋根リングの廃材、無理やり活用方法を考えて、堺市に何かを作る可能性もなきにしもあらずだということお伝えさせていただきました。

## 【森田晃一さんへの質疑応答】

Q：万博会場は危ないと私たちも心配していたし、孫たちに行かせたくないという思いは強かったんですけども、実際に行った子どもたちはどういう感想を持ったのでしょうか？ 中身はどうだったのか？子どもたちや大人たちはどう受け止められているのでしょうか？

万博に行かれた方々の評価はそれぞれだと思います。私たちも冷静に考えていいかといけないと思っているのは、万博を楽しまれている方を批判しているとかではなくて、学校で少数の先生方が大勢の子どもたちを連れていいくリスクや立地について問題提起をしてきました。

実際に行かれたお子さん方、先生方、当然それぞれの感性ですから、子どもたち一人一人に聞いたら楽しかっただとか、教育委員会に聞けば、万博の求めていたものに触れて、子どもたちが将来にいろいろ役立てられるんじやないかとか。

万博協会に堺市が職員7名派遣していますが、職員さん自らが万博での仕事に携わってみたいという志願があったと聞いています。万博の内容そのものに対して問題があるかどうかということではなくて、遠足で大勢の子どもたちを連れていく、このリスクに対してどうだったのかということを、やっぱり私たちは議論していくべきだと思ってやってまいりました。

子どもの中には当然歩くのがしんどくて、もう行きたくないという子もいたでしょうし、すごくよかったです、また連れて行ってほしいと親御さんにお願いした子もいたと思うので、一概にこの件については、なかなか言い切れるもんじゃないと思っています。

遠足で行かれた学校が停電時に遭遇しなくて本当に良かったけれども、危険とは隣り合わせだったということは無視できない問題だったと思います。

#### 図 全商連の「万博未払い110番」に寄せられた被害の状況

事業者所在地	被害額	工事名	当該工事の最上位元請け名
京都府	1億2千万円	マルタ館新築工事	GL events Japan 株式会社
大阪府	1015万5904円	土工	GL events Japan 株式会社
香川県	4300万円	アンゴラ館建設工事	吉拓株式会社
千葉県	3085万5622円	アメリカ館	ES global Japan 株式会社
奈良県	2500万円	弱電関連工事	中日建設株式会社
鳥取県	500万円	インド館新築工事 ドイツ館外構工事	GL events Japan 株式会社
大阪府	2千万円		
岐阜県	800万円	セルビア館・ 鉄骨建て方	GL events Japan 株式会社
滋賀県	3245万円	セルビア館 外構工事	GL events Japan 株式会社
大阪府	1億3204万400円	ルーマニア館新築工事 セルビア館工事	GL events Japan 株式会社
大阪府	880万円	アンゴラ館	吉拓株式会社
被害額計	4億3530万1926円		

※2025年8月3日現在

# 【報告】未来への投資か、財政リスクか？ 堺市と万博関連支出を読み解く



小堀清次さん（堺市議会議員）

費用対効果の分析は、アカデミックな世界でも非常に難しいものであり、私がすべての数字を持ち合わせているわけでもありません。そのような中ではありますが、可能な限り方向性をお示しできればと考えております。

堺市が令和5年度に最初の万博関連支出を始めた段階から、堺市への誘客や市内波及効果について、しっかりと効果検証を行うべきだと議論を重ねてきました。

## 堺市が万博効果検証を議題とした会議を開催

11月12日、堺市は議員に対し「2025年大阪・関西万博 堺プロジェクト推進会議」を11月19日に開催するとの情報提供を行いました。概要を見ると、私たちが求めてきた効果検証の視点から総括的な報告があると記載されているものの、誰が報告するのかは示されていません。もし効果検証が議題であるならば、本来は正式な議題として掲げられるべきですが、実際の議題は

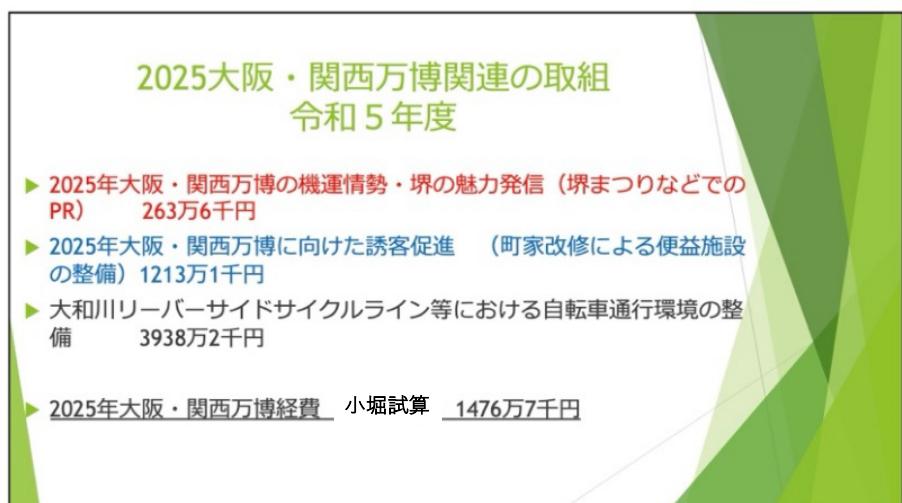
1. 万博を契機とした主な取組と成果について
2. レガシーの継承と活用について
3. 意見交換 の3点のみです。

出席者は堺市長、堺商工会議所会頭、堺コンベンション協会会長、堺新事業創造センター専務（局長級OB）、堺市産業振興センター副理事長（OB）といった顔ぶれで、率直に言って効果検証に厳しい意見が出る構成とは考えにくいものです。会議時間もわずか45分。さらに、この会議には「第1回」とも記されておらず、1回限りで終える意図が読み取れます。

## 令和5年度（2023年度）の万博関連支出：1476万7千円

令和5年度の堺市の万博  
関連予算のうち、263万6千  
円は堺まつり等でのPR、  
1213万円は町家改修による  
便益施設整備（カフェや情報  
案内所等）に充てられました。

なお、大和川リバーサイ  
ド・サイクルラインを含める  
と10億円規模になります  
が、これは阪神高速大和川線  
整備に伴い当初から予定され  
ていた整備であり、万博の有無にかかわらず実施されたものです。万博に連付けることで国の交  
付金が得やすかったという性格上、今回は万博関連支出から除外し、私の試算では令和5年度は  
1476万7千円としています。



## 令和6年度（2024年度）の万博関連支出：1億6193万5千円

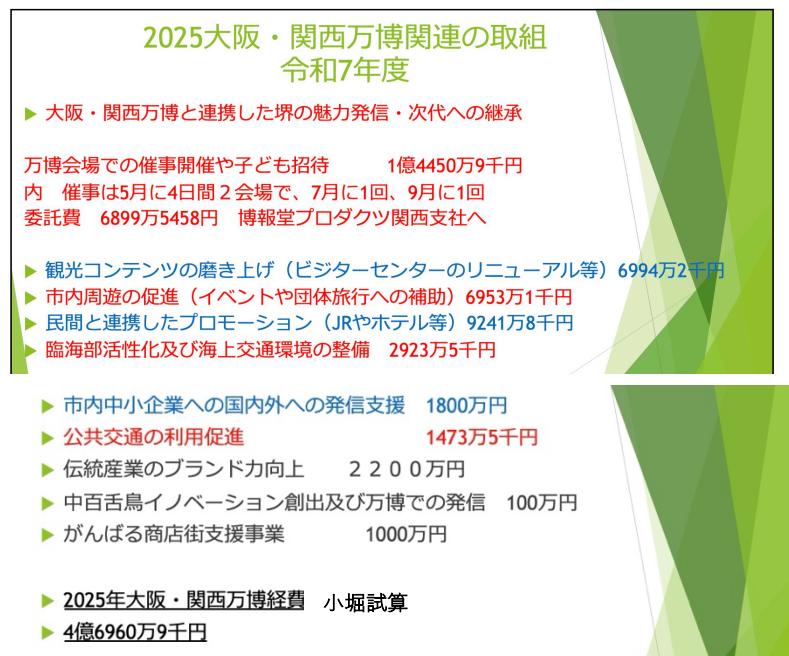
令和6年度は支出規模が大きくなり、市役所21階展望フロアのリニューアルなどプロモーション関連に約1億2,500万円。伝統産業のブランド力向上（刃物のPR・オープンファクトリー等）で1,630万円。その他、環濠エリアへの誘客プロモーション約530万円。ミャクミャクとハニワ部長シール等、細かい取組も多く予算の流れが見えづらい点が課題です。

さらに子ども無料招待事務費380万円と債務負担行為6,900万円も含まれます。令和6年度はリバーサイド整備分を除き約1億6193万5千円です。



## 令和7年度（2025年度）の万博関連支出：4億6960万9千円

令和7年度は、万博会場での催事や子ども招待などに1億4,450万9千円（債務負担行為分含む）を計上しています。催事は博報堂子会社に約7,000万円を委託し、春・夏・秋の3回（合計6日間）実施。ビジャーセンターのリニューアル、市内周遊促進の補助、民間とのプロモーション（JRとのデステイネーションキャンペーン等）に約1億円、海上交通環境の整備に約3,000万円。市中小企業の発信支援は1,800万円、市内公共交通の利用促進は1,473万5千円。以上、令和7年度の試算は4億6960万1千円です。



## 3年間の堺市万博関連支出： 6億6331万1千円

以上を合計して、国際博覧会協会へ派遣した職員の人事費8500万円を加えると、3年間の堺市万博関連支出は約6億6331万1千円となる見込みです。

## 万博会場での堺市催事は効果があったのか

万博会場催事 6900万円	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 春 4日間 (2会場)</li><li>▶ 茶の湯などの発信</li><li>▶ 来場者数 17,903人</li><li>▶ 万博来場者数中4.3%が訪問</li></ul> 	<table border="1"><tr><td>5月10日 (土)</td><td>107,545人</td></tr><tr><td>11日 (日)</td><td>103,399人</td></tr><tr><td>12日 (月)</td><td>99,802人</td></tr><tr><td>13日 (火)</td><td>105,553人</td></tr></table>	5月10日 (土)	107,545人	11日 (日)	103,399人	12日 (月)	99,802人	13日 (火)	105,553人
5月10日 (土)	107,545人									
11日 (日)	103,399人									
12日 (月)	99,802人									
13日 (火)	105,553人									

堺市の春の催事（茶の湯）は、4日間2会場で計1万7903人。この期間中の万博来場者に対する割合は4.3%。夏の催事（相撲）は約6.7%、秋の催事（ミュシャ）は5%と、いずれも来場者のごく一部にとどまりました。

堺市は「催事参加者の市内誘客が最大の効果」と答弁しましたが、催事の参加割合からみても、どれほどが堺に

来訪したかは極めて疑問です。

## ビジターセンターのアンケートを基にした推計

アンケート母数は453と少ないものの、万博を契機に来訪した割合を催事参加者に掛け合わせると、最大6123人が堺に来た可能性があります。堺市の観光消費額（1人当たり平均1万2518円）で計算すると、6800万円の支出に対し「1人誘客あたり1865円の公費」が必要だったことになります。民間では成立しない数字です。

## インバウンド効果なのか、万博効果なのか

### インバウンドの動向

- ▶ 2025年の来訪者数の推移（月別）JNTO発表の速報値
- ▶ 4月約390万人 4月として過去最高を記録
- ▶ 5月約369万人 5月として過去最高を記録
- ▶ 6月約338万人 6月として過去最高を記録
- ▶ 7月約344万人
- ▶ 8月約342万人 8月として初めて300万人超え
- ▶ 9月約327万人 9月として初めて300万人超え

4~9月の日本全体のインバウンドは史上最高を連続更新しました。堺市でも大仙公園来訪者が33%増、ビジターセンター29%増等の増加がありますが、万博の効果とは言い切れず、インバウンド要因と混在しています。

ホテル稼働率が大阪市より伸びた点も、外縁部のホテル価格の安さを考えると、万博効果と断定はできません。刃物の売上なども、外国人訪問客の増加と連動しており、インバウンドの寄与が大きいと考えられます。

唯一確かな効果が出たのは海上交通です。桟橋設置1500万円に対し便益2312万円と、明確に費用対効果がプラスになりました。



## 【小堀清次さんへの質疑応答】

### Q：万博学校遠足に多くの学校が不参加だったことをどう考えればいいでしょうか？

万博遠足については、学校の年間スケジュールが1年前に確定しており、府教育庁からの照会があった2月時点では多くの学校で判断が固まっていました。あえて混乱を招くタイミングで回答する必要はなく、「検討中」という回答が多かっただけです。堺市で8割が参加しなかったのは妥当な判断だったと思います。

### Q：大屋根リングでの盆踊りや第九合唱などの催しには参加が動員されたのでしょうか？

万博は非常に多くの方々が楽しみ、催事参加は抽選になるほど希望者が多い状況でした。団体出演も多数あり、炎天下でも誇らしげに参加されていたほどで、特別な告知がなくても人々は喜んで参加されたというのが実情です。

### Q：万博にいいイメージを持っている市民の方と話すとき、経費の問題から入ると語りにくい面があるかと思います。そうした人と万博の問題点と一緒に考えていく際、どういったところから話をしていけばいいでしょうか？

ロンドン万博では蒸気機関が展示され、産業革命、一種のレボリューションにつながります。パリ万博ではエiffel塔。あれは都市が地上に伸びていく姿、すなわち、エレベーターが開発されそれを社会に知ってもらうためにエiffel塔を建てた。地下鉄もそうです。

日本では、大久保利通卿が開催した第一回内国官業博覧会では、日本中の名品を揃えて外国の方に買ってもらおうとか、それぞれ万博には必ず目的があるはずです。

今回の大阪関西万博は、ミックミックというキャラクターが目立っていますが、「命輝く未来社会のデザイン」がその筈なのです。

当初の構想段階では、東京大学工芸社会総合研究機構の秋山弘子先生という、まさにジェロントロジー（老年学）の日本の権威といわれる方も入られて、この万博をそういうテーマにしていこうという話をしていたはずが、始まってみると、壮大な盆踊りとか第九を歌おうとか、あげくの果てにマツケンサンバまで呼んで来てとか。これらは「命を輝かす未来デザイン」に合っていたかというあたりからお話を始めてもらったらどうでしょうか

特に我が国はまごうことなく世界で一番の高齢社会として、どの国よりも先を走っていますので、そこに対して何らかの内容が多少あったのであれば、少しは変わったのかなと思います。けれど、そうした面では何一つも残っていないなと思いますので、そこを切り口にされたらどうかなと思います。

### Q：副首都、大阪都構想の3度目の住民投票についてどう考えておられますか？

論外としか言いようがございません。ノーです。（拍手）

## 【市議へのクエスチョンタイム】

**Q：味気ないブロック護岸の堺旧港を、歴史、文化、自然を生かして再整備できないか？**

**A：森田晃一議員** 堀旧港の管理は、堺市ではなく大阪府大阪港湾局が担っています。直接堺市が護岸をどうすることもできません。先ほど小堀議員から報告がありましたように、そもそもなぜ夢洲万博への海上交通の桟橋設置に堺市が 1500 万円の負担をしたのかという議論が起きたのもそのためです。護岸の再整備は大阪港湾局に要望しなければなりません。

**Q：本年から始まった中学校給食は自校調理ではなく給食センター方式になっていますが、味はどうなのでしょうか？**

**A：森田晃一議員** かなり個人差があると思いますが、堺市が子どもたちにアンケートでは「おいしかった」という子どもたちの方が多い結果です。市議会文教委員会有志で、先日中学校給食を食べてきましたがおいしかったです。圧倒的多数の子どもたちがおいしいと言ってくれる給食をめざさなければいけないことには間違いないので、これでよしとするのではなくて、さらに向上させていくために我々も頑張っていきたいなと思っています。

**Q：11月12月市議会定例会での注目ポイントは？**

**A：渕上猛志議員** 一つは万博の検証です。二つ目は来年度予算です。2月の定例会には市の予算案が出てきます。議会は、それを可決か否決か、削るか削らないかとなり、修正は実質的にはできません。ですから、今回の議会が、こういう予算にすべきだという議論をする最後の定例会になります。

今回予算編成方針が発表されています。そこで、永藤市長就任以来の大きな転換があります。今までは財政状況が厳しい厳しいと節約一辺倒でした。ところが今回は、「税源涵養に資する事業に関しては積極的に投資する」と、条件付きではあれ「積極的投資」というワードが入ったのです。

では何に投資するのかをしっかり議論していくかなきゃいけないし、「税源涵養」ってそもそも何なのか。簡単に言えば、税収アップのリターンがあるという意味ですよね。しかし、例えば教育などはどうなるのでしょうか。数値化などできないですよね。彼らが言っているのは数値化できるものなんです。あとキャッシュで払ってキャッシュで入ってくる、そんなイメージです。それでもなお「積極的投資」という言葉が初めて入ったので、しっかり議論したいと思っております。

**Q：堺の目玉事業は、大小路自動運転バス、中央図書館建替え、堺ミュージアム構想？**

**A：渕上猛志議員** 中央図書館建替えと堺ミュージアム構想は、議論ばかり続いて遅々として進んでいない感じです。大小路自動運転バスに関しては、今白いバスで実証実験が行われています。私も乗ってきましたけれども、駐車車両で立往生してしまったりとか、仮免許中のドライバーみたいな感じです。じりじりしか動けなくなってしまう。運転手さんが乗って、手動と切り替えられる状況でしか商業運行できないと思います。そうなると当然コストが大変高いわけですよね。自動と言いながら普通に運転手さんが運転するのですから。その高コストは、当然利用者負担にはできませんから税金で埋めるという話で、国交省の補助金に堺市が多額の公費を上乗せしてしばらく運行していくということになるのでしょうか。

余談ですが、私はかつての業界での知り合いの自動運転バス業界の人間がたくさんいます。たまたま昨日その人と意見交換したら、こんな高コストで多額の税金を負担して財政を逼迫させるのであれば、やがて業界の技術が上がって低コストになってから参入したらいいのにと言われました。堺市は今、参入してどんどんお金使っていくという状況です。

# 【市民運動報告】

## ○ さかいユニオン・ビーナス分会

美佐田和之さん（さかいユニオン委員長）

さかいユニオンは堺市の介護事業者、株式会社ビーナスと団体交渉しています。介護事業は一般業界平均より8万円賃金が安く極端な人手不足です。この会社では、いわゆる名義貸し、現場にいない職員の名前を書類に書き込んでサービスをしているように装う不正請求の実態があります。その責任の一切を一管理者である植田謙太さんに負わせる懲罰の異動辞令をかけてきました。本人からお聞きください。

植田謙太さん（さかいユニオン・ビーナス分会分会長）

ビーナスは、メインは介護事業で、他に訪問看護、障害福祉介護、放課後デイサービスなどを運営しています。今までスタッフが足りなくとも、介護保険報酬の加算を要件が満たされていなくても会社は介護報酬を請求し、どんどん事業を拡大、関西だけでなく関東にも広げ、現在100以上の事業所を持っています。こうした流れが当たり前だという会社の中で私もずっと仕事をしてきました。

私は事業部長に任命されましたが、私の管轄の業態が適正に運営ができていないと、ある日、上部に呼び出しを受けました。指摘を受けて改善を進めていたにもかかわらず、今年8月19日に社長と常務に改めて呼び出しを受け、3段階降格、12万円手当を引き下げられ、私は鳳に住んでいるんですが9月1日から東海事業部に行けという辞令が出されました。私は家族のある身で、これまでの流れもありますので、納得ができないと、さかいユニオンの方々と一緒に会社に辞令



安田信彦ビーナス社長は経営理念や社長メッセージに自ら反しえげないことをしているトンデモない代表取締役！

社長が団体交渉すべて欠席！なに逃げ回っとるんや！出て来い！

仕事取上げ変わらず！12万円カット補填、組織団名前復活、社内連絡回復！

降格のまま過大ミッション名古屋単身配転パワハラを謝罪し撤回しろ！

**立派な経営理念！**

110ヶ所の事業所を構え1383人の労働者を雇用し堺市を中心にして大阪府・兵庫県・東京都・埼玉県・神奈川県にも展開している(株)ビーナスはホームページで「社員の幸福を通して社会に貢献する」ことを経営理念の第一に挙げています。

**立派なメッセージ！**

安田信彦ビーナス社長は「ご利用者様と直接接するスタッフが非常に大切な存在であり、最大の資産であると考えています。スタッフが幸福でありサービスに全力を尽くせるよう、社員の幸福を通して社会に貢献する」という経営理念を掲げています」などとホームページにメッセージを発しています。

**職場の仲間に不安が…**

U事業部長はこの経営理念のもとコンプライアンスは勿論のことスタッフが働きやすい職場づくりと安心して快適に利用できる介護を目指して奮闘してきましたが、このことがあって職場に衝撃と不安が広がり、今回の異動辞令を撤回してほしいとの350筆の従業員の署名を社長は受け取らず届けた社員に対し3時間も持論を吐き報復の嫌がらせをしてきました。

**T組合員の現状！**

Uさんは仕事を常務に取り上げられ家族も巻き込まれたショックで精神的にダメージを受け大変辛い状態にあり休んでいます。再度出された異動辞令による12月1日からの実体のない名古屋への配転は期限をなくして来たので退職するまで家族のもとに帰つて来れません。

Tさんは社長と常務によるパワハラを受け心身不調になつても働き続けていますが職場や利用者からのクレームをでっちあげて担当職場を外して来ました。Uさんにに対するやり方と同じです。もちろんパワハラであり不当労働行為ですから然るべきキツク対処します。

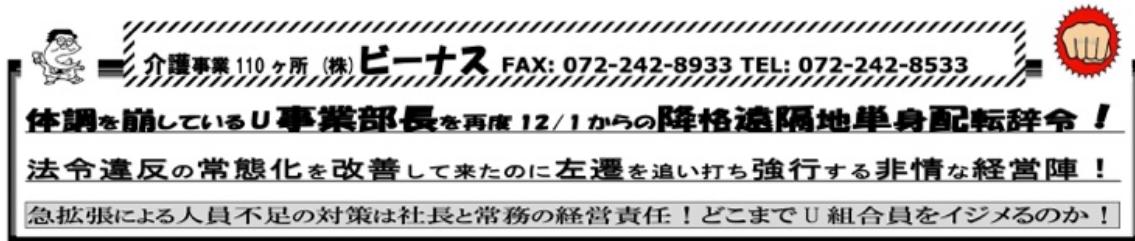
だれでも、一人から入れる労働組合 \*相談無料・秘密厳守・お気軽に\*

さかいユニオン TEL 080-5714-5820 FAX 072-242-6315

E-Mail : woodgate1313@yahoo.co.jp

2025年11月20日 No.5 (裏面)

撤回を求めて交渉しているところです。介護保険制度の厳格な制度なチェックが会社に対して必要だと痛感します。この不当な辞令交付の実態をたくさんの方に聞いていただけたらとても力になりますのでよろしくお願ひいたします。



U事業部長が8月19日に社長と常務から9月1日付で降格減給と実体のない東海地方への単身赴任を命令する異動辞令を突然通告され、8月30日の第1回団交で理由を聞くと「①人員を満たしていない②サービス提供時間の基準を下回っていた③名前貸しをしている」と回答しましたが、実際は「①全社的に人手不足が常態化していた②利用者の要望に応えていた③名前貸しは会社も容認していた」のです。

**会社の対応は?**

社長が出席しない今まで4回行った団交で「今回のU事業部長の異動辞令は就業規則に基づく懲戒処分ではなく単なる人事異動」だと主張し社長が「しが悪いことをした」と言つてることから、就業規則に基づかない社長と常務による恣意的な「降格減給左遷」の懲罰人事と言つことになります。

**T組合員へ攻撃!**

Tさんは数人で350筆の歎願署名を届けに行くと社長に2人きりにされて2時間以上もU事業部長の悪口を聞かされてから常務による会議や連絡会等のバワハラを親会社のセンコーに通報して聴取が行われています。社長や常務のバワハラで心身不調になり組合加入して会社に通知したところ担当事業所を2ヶ所も外されました。

11月27日に開催されますが交渉事項が決まり解決するまで団交を申し入れます。

だれでも、一人から入れる労働組合 \*相談無料・秘密厳守・お気軽に\*

さかいユニオン TEL 080-5714-5820 FAX 072-242-6315

E-Mail : woodgate1313@yahoo.co.jp

2025年11月20日 No.5 (表面)



2025  
11.22(土)

①昼の部/14:00開演 ②夜の部/18:00開演

和泉市 弥生の風ホール

〒594-0041 大阪府和泉市いぶき野5丁目4-7

前売り ¥3,000 当日 ¥3,500

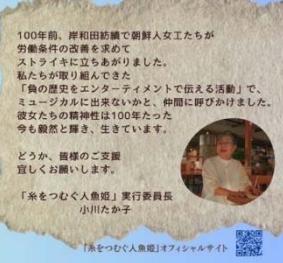
配信 ¥3,500 (当日から2週間閲覧可能)

障がい者 ¥1,500 /中・高校生 ¥1,500

チケットひあチケット 購入サイト

主催: 「糸をつむぐ人魚姫」上演実行委員会  
【実行委員長】 小川たか子 【監修】 舟 時宗

■お問い合わせ ■ 080-5309-1538(事務局長/野口)



## ○ 学童保育事業者選定

**松谷有紀さん**（堺学童保育連絡協議会事務局長）

堺の学童保育は 1997 年に今の「のびのびルーム」がスタートして以来、堺市教育スポーツ振興事業団が運営を担っていましたが、2015 年頃から様々な株式会社が参入、そこから 3~5 年ごとの事業選定が行われてきました。そして 10 月 31 日付で今年の事業者選定が公報されました。継続性安定性を第一にと訴え続けていますが、途切れ途切れの選定が進んでいます。



民間になってメリットを何一つ感じません。1 支援あたりの常勤指導員の配置率は20政令市で最下位。事業者がコロコロ変わり、運営費も安い中で、良くしていきたくてもできないというのが実際です。堺市は競争性を生かして良くしていくと言われていますが、蓋を開けてみたら「あれだめこれだめ」とか「何々しません」とか、そういうルールや張り紙が非常に増えています。やっぱり運営事業者も選定から外されないよう必死なので、問題を起こさないように管理的な保育に走らざるを得ません。その結果、学童に行きたくないという子が増えています。学校は不登校が増えていますが、学童は「不登室」が増えております。

堺市が運営主体として、しっかりと『堺の学童をこうしていく』というビジョンを持ち、良くしていくための仕組みを作っていただけたらと願っています。

報告資料①：松谷有紀（堺市学童保育連絡協議会）

烟灰、漂白牙膏与口腔

報告資料②：松谷有紀（堺市学童保育連絡協議会） 政令市における指導員・常勤の配置状況



## 【閉会挨拶】

杉山美紀さん（市民1000人委員会事務局）

私は万博に行きました。業者さんが頑張ってくれただけあって、さすがに表面はすごい綺麗です、新しい。イタリア館はすごく良かったです。「命輝く未来社会の実現」という感じではあんまりなかったなという印象ですが。こじつけてイタリア館の芸術は永遠の命を持っているんだよみたいな感じで。最新の美術なんかも提示はしていたのですが、目玉って彫刻とか絵とかじゃないですか。素晴らしいましたが、未来社会っていう感じではありませんでしたね。

夢洲でやることを含め批判的でしたが、誘われて、実際見てみないと何も語れないなと思って行きました。私は社会科の教師なので、子どもたちが異文化に触れるのはすごいいい体験だと思いますので、遠足で子どもたちを行かせることも一義的に悪いものではないと思っています。ただ安全面がとにかく脆弱で、地下鉄が止まつたら帰れないし、南海トラフ地震も台風もまたまた来なくてよかったです。運が良かったの一言に尽きます。行ったら行ったで楽しいけれど問題はずっと残っているわけですね。

万博に行って楽しかったということと、批判すべきことを批判するのは矛盾なく両立のできるものと考えています。行った人に、よくもあんなとこ行こうと思ったなと批判するとか、行かへんほうが損やと喧嘩するのではなく、行った人は楽しんだ分お金も結構使ったんやから、例えば未払いの業者さんを助けるために声をあげてほしいというふうに持つていけたらいいよねとSNSでやりとりすることもあります。万博で積み残されている問題。経費、工事代金未払、環境問題、ごみ処理の問題など木下さんが今日お話ししてくださったこと、色んな視点から考えることができます。まだ万博は終わってないって木下さんおっしゃってくれましたが本当にその通りです。皆さんができるきっかけにして下されば幸いです



**市民 1000 人委員会の活動は皆さんの賛同金で支えられています**  
**市政を市民の手に取り戻すために**  
**1000 人委員会の輪を拡げて下さい**  
**ワンコイン500円で市政を変えよう**  
 お知り合い、ご友人にお声をかけて下さい。  
**賛同人は 1148 人 (11月 30 日現在) です**  
 みんなでつくろう ええまち堺 市民 1000 人委員会  
**【第 7 期会計決算報告 (7ヶ月中間)】**  
**自 2025/05/01 至 2025/11/31**

〔収入の部〕 賛同金収入	244,000円
販売収入	23,041円 (『市政レポート』)
寄付金	1,000円
雑収入	617円
<b>収入の部合計</b>	<b>268,658円</b>
〔支出の部〕 会議・集会費	12,420円 (市政チェック学習会、事務局会議)
通信費	216,011円 (『市政レポート』学習会案内等)
印刷費	172,173円 (『市政レポート』等)
消耗品費	23,859円 (封筒、用紙等)
広告宣伝費	4,320円 (ホームページ費用)
支払手数料	1,650円 (口座徴収手数料等)
<b>支出の部合計</b>	<b>430,433円</b>
〔当期収支差額〕	▲161,775円
〔前期繰越金〕	445,676円 (第6期末: 2025/4/30)
〔残高〕	283,901円 (2025/11/30 現在)
(内訳) 現金	42,510円
郵便振替口座	80,285円
ゆうちょ通常貯金	161,106円 / 計 283,901円

# 2025年賛同金 (一口500円) を下記にお振込みください。

\* 郵便振替口座 : 記号 00930-7-番号 325186

加入者名 : 市民 1000 人委員会 シミンセンニンイインカイ

\* ゆうちょ銀行・通常貯金 記号: 14010 番号: 69946591

加入者名 : 市民 1000 人委員会 シミンセンニンイインカイ

# 他の金融機関から振り込む場合は、

【店名】ヨンゼロハチ (四〇八) 【店番】408

【預金種目】普通預金 【口座番号】6994659 (7桁)



2025年12月発行  
編集 市民1000人委員会  
発行者 市民1000人委員会  
〒590-0959  
堺市堺区大町西三丁1番29-502号  
TEL 072-229-6331  
FAX 072-242-6315  
Email Q Y D04504@nifty.com



# ～たたかう 堺 市民～

## 振込先

### ◆郵便振替口座

加入者名：市民1000人委員会 シミンセンニンイインカイ  
記号：00930-7-325186

### ◆ゆうちょ銀行 通常貯金口座

加入者名：シミンセンニンイインカイ  
記号：14010 番号：69946591

※他の金融機関からの振り込みの場合は

店名：四〇八 ヨンゼロハチ

店番：408 種目：普通預金 口座番号：6994659



1000委  
Web Page

価格 300円